

「基礎演習Ⅱd」反射光線1001（1217提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱd」反射光線1002（1222地民研助手に提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

12月22日17時までに地民研助手に提出。

「基礎演習Ⅱd」

レポート執筆要領

1 課題：自分のテーマについて、研究・調査計画に基づいて行った研究をふまえて、レポートを執筆する。

研究・調査レポート作成要領をふまえること。

テーマの下、右側に、完成した日の日付と学生証番号および氏名を忘れずに書くこと。

本文は、いくつかの節に分け、読みやすくすること。

最後に利用した文献、資料、ホームページなどのリストを、指定したリストの方式にしたがって、挙げておくこと。

レポートが完成したあとに所定の表紙をつけること。

2 サイズ；4 0 0 0字以上を目標、多くなるのは差し支えない。

ワープロで、A4 用紙に横書き 4 0 字 4 0 行で印字すること。

A4 用紙は左肩をホチキスで止め、バラバラにならないようにすること。

3 提出：2 0 1 1 年 1 月 2 1 日（金）

教室に持参。

最終レポートを出さない者は、この授業の庄司の担当分を受講しなかったものと見なされる。

4 注意：

レポートの内容や書き方について、友だち同士で相談するのは差し支えないが、最後は必ず自分で考え、自分の文章で執筆すること。

テキストを含めて他の本や論文、記事、インターネット・ページなどからの引用は、必要最小限度にとどめ、かならず「 」でくくって自分の文章と区別し、どこからの引用かを示すこと。

他人のものをそのまま写したり、書かれているものを無断で引用したりしてはならない。

同文またはほぼ同文と見られるレポート、およびテキストなどからの無断転用と見られるレポートは、一括して採点の対象にしないので、そのつもりで。

レポートは返却しないので、必要な場合は必ずコピーをとり、コピーを手元に残してオリジナルを提出すること。

「基礎演習Ⅱc」反射光線1001（1029提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱc」反射光線1002（1112提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱc」反射光線1003（1119、庄司研に提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱc」

レポート執筆要領

1 課題：自分のテーマについて、研究・調査計画に基づいて行った研究をふまえて、レポートを執筆する。

研究・調査レポート作成要領をふまえること。

テーマの下、右側に、完成した日の日付と学生証番号および氏名を忘れずに書くこと。

本文は、いくつかの節に分け、読みやすくすること。

最後に利用した文献、資料、ホームページなどのリストを、指定したリストの方式にしたがって、挙げておくこと。

レポートが完成したあとに所定の表紙をつけること。

2 サイズ；4000字以上を目標、多くなるのは差し支えない。

ワープロで、A4用紙に横書き40字40行で印字すること。

A4用紙は左肩をホチキスで止め、バラバラにならないようにすること。

3 提出：2010年12月17日（金）午前11時～午後4時

庄司研・井上さんに提出。必ず受け取りをもらうこと。

最終レポートを出さない者は、この授業の庄司の担当分を受講しなかったものと見なされる。

4 注意：

レポートの内容や書き方について、友だち同士で相談するのは差し支えないが、最後は必ず自分で考え、自分の文章で執筆すること。

テキストを含めて他の本や論文、記事、インターネット・ページなどからの引用は、必要最小限度にとどめ、かならず「」でくくって自分の文章と区別し、どこからの引用かを示すこと。

他人のものをそのまま写したり、書かれているものを無断で引用したりしてはならない。

同文またはほぼ同文と見られるレポート、およびテキストなどからの無断転用と見られるレポートは、一括して採点の対象にしないので、そのつもりで。

レポートは返却しないので、必要な場合は必ずコピーをとり、コピーを手元に残してオリジナルを提出すること。

「基礎演習Ⅱb」反射光線1001（0709提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱb」 反射光線 1 0 0 2 (0 7 1 6 11 時～16 時に提出)

(1 行アケル)

所 属 :

学科 (西暦)

年入学

学生証番号 :

氏 名 :

(1 行アケル)

7 / 9 の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて 4 0 字 4 5 行に設定し、上の部分 6 行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ 6 行以上、自分の全体的な感想や反省について 6 行以上書いてみる。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱb」 反射光線 1003 (073011 時～13 時に提出)

(1 行アケル)

所 属：

学科 (西暦)

年入学

学生証番号：

氏 名：

(1 行アケル)

7/23 の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて 40 字 45 行に設定し、上の部分 6 行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ 6 行以上、自分の全体的な感想や反省について 6 行以上書いてみる。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱb」

レポート執筆要領

1 課題：自分のテーマについて、研究・調査計画に基づいて行った研究をふまえて、レポートを執筆する。

研究・調査レポート作成要領をふまえること。

テーマの下、右側に、完成した日の日付と学生証番号および氏名を忘れずに書くこと。

本文は、いくつかの節に分け、読みやすくすること。

最後に利用した文献、資料、ホームページなどのリストを、指定したリストの方式にしたがって、挙げておくこと。

レポートが完成したあとに所定の表紙をつけること。

2 サイズ；4 0 0 0 字以上を目標、多くなるのは差し支えない。

ワープロで、A4 用紙に横書き 4 0 字 4 0 行で印字すること。

A4 用紙は左肩をホチキスで止め、バラバラにならないようにすること。

3 提出：2 0 1 0 年 1 0 月 1 日（金）午前 1 1 時～午後 4 時

庄司研・井上さんに提出。必ず受け取りをもらうこと。

最終レポートを出さない者は、この授業の庄司の担当分を受講しなかったものと見なされる。

4 注意：

レポートの内容や書き方について、友だち同士で相談するのは差し支えないが、最後は必ず自分で考え、自分の文章で執筆すること。

テキストを含めて他の本や論文、記事、インターネット・ページなどからの引用は、必要最小限度にとどめ、かならず「 」でくくって自分の文章と区別し、どこからの引用かを示すこと。

他人のものをそのまま写したり、書かれているものを無断で引用したりしてはならない。

同文またはほぼ同文と見られるレポート、およびテキストなどからの無断転用と見られるレポートは、一括して採点の対象にしないので、そのつもりで。

レポートは返却しないので、必要な場合は必ずコピーをとり、コピーを手元に残してオリジナルを提出すること。

「基礎演習Ⅱa」反射光線1001（0514提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱa」反射光線1002（0521提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

次回授業開始前に提出。

「基礎演習Ⅱa」反射光線1003（0528提出）

（1行アケル）

所 属：

学科 （西暦）

年入学

学生証番号：

氏 名：

（1行アケル）

今日の報告者の報告を一人ひとりについて簡潔にまとめ、それについて感じたこと、発言したこと、あとから気がついたこと、などを書き、最後に今日の演習でとくに収穫だったと思うことを挙げなさい。

ワープロを用いて40字45行に設定し、上の部分6行分はこれと同じようにしてその下に、一人ひとりについてそれぞれ6行以上、自分の全体的な感想や反省について6行以上書いてみることを。

整理のため、一人についての感想がページをまたがないようにすること。また、裏には印刷しないこと。

5月28日に地民研に提出。

「基礎演習Ⅱa」

レポート執筆要領

1 課題：自分のテーマについて、研究・調査計画に基づいて行った研究をふまえて、レポートを執筆する。

研究・調査レポート作成要領をふまえること。

テーマの下、右側に、完成した日の日付と学生証番号および氏名を忘れずに書くこと。

本文は、いくつかの節に分け、読みやすくすること。

最後に利用した文献、資料、ホームページなどのリストを、指定したリストの方式にしたがって、挙げておくこと。

レポートが完成したあとに所定の表紙をつけること。

2 サイズ；4000字以上を目標、多くなるのは差し支えない。

ワープロで、A4用紙に横書き40字40行で印字すること。

A4用紙は左肩をホチキスで止め、バラバラにならないようにすること。

3 提出：2010年6月18日（金）午前11時～午後4時

庄司研・井上さんに提出。必ず受け取りをもらうこと。

最終レポートを出さない者は、この授業の庄司の担当分を受講しなかったものと見なされる。

4 注意：

レポートの内容や書き方について、友だち同士で相談するのは差し支えないが、最後は必ず自分で考え、自分の文章で執筆すること。

テキストを含めて他の本や論文、記事、インターネット・ページなどからの引用は、必要最小限度にとどめ、かならず「 」でくくって自分の文章と区別し、どこからの引用かを示すこと。

他人のものをそのまま写したり、書かれているものを無断で引用したりしてはならない。

同文またはほぼ同文と見られるレポート、およびテキストなどからの無断転用と見られるレポートは、一括して採点の対象にしないので、そのつもりで。

レポートは返却しないので、必要な場合は必ずコピーをとり、コピーを手元に残してオリジナルを提出すること。